恩師近況

お詫び　そして、思い出

2020年4月～2022年3月
北海道七飯高等学校
校長　菅原　雅之

2年間の在任期間中、同窓会の皆様には様々なご支援をいただきながら、特色ある教育活動や学校の魅力化に大きな成果をあげることができませんでした。また、職員室の教員の机上やロッカーから重要書類がなくなるなどの事件が頻発し、職員室に防犯カメラを設置する事態となりました。痛恨の極みであります。これらの公文書毀棄事件の真相を明らかにせず転勤し、慚愧の念に堪えません。八雲高校100年の歴史に傷をつけ、改めてこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、2年間の在職期間でありましたが、毎日、校長室に掲げられていた徳川義親公の写真に仕事ぶりを見ていただきました。また、徳川義直公の「己が智にほこり、人の不才をあざけり、物事我意にまかせしき事。」という言葉を座右の銘にして生活して参りましたが、教育者として全く進歩しておらず、穴があったら入りたい気分であります。

八雲高校を離れて数ヶ月しかたっておりませんが、暑いグランドで汗まみれになっていた野球部、冬の寒い日に廊下を黙々と駆けている陸上部のことなどが思い起こされます。この「動」と対照的に、検定のために日曜日でも登校する総合ビジネス科の生徒、家庭学習期間に黙々と勉強する普通科の生徒も「静」の姿も懐かしく思い起こされます。八雲高校がますます魅力ある学校となるよう、隣町の片隅から声援を送り続けます。

八雲高校での10年間

2012年4月～2022年3月
北海道札幌英藍高等学校
教諭　平林　秀樹

この春に、十年間住み慣れた八雲を離れ、生まれ故郷である札幌に戻ってきました。新しい学校での仕事と生活に慣れることに精いっぱいで、周りを見る余裕もない日々を送ってきましたが、そんな日常の中で、あらためて八雲高校と八雲町の素晴らしさを実感しています。八雲高校に在任中は、外部の方から「八雲高校の生徒さんは挨拶がしっかりしている」と褒めていただいておりましたが、長い間八雲高校にいたせいか、内心では高校生ならこれぐらい当たり前ではないのか、社交辞令だろうなどと思っておりました。しかしながら、八雲から離れて今どきの高校生たちと交流してみると、それが当たり前ではないこと、本当に八雲高校生の挨拶が飛びぬけて素晴らしかったことに気づかされたのです。けっして現任校の生徒や部活動で交流する近隣の高校生が挨拶をしてくれないというわけではないのですが、いつもニコニコと誰にでも機嫌良く挨拶ができる純朴さは、自然豊かな八雲町で育つことで身につけられた資質だったのだと思います。

コロナで通常開催が難しくなっている学校祭でのクラスパフォーマンスも、もの凄いことを平然とやってのけていることにお気づきでしょうか。専門的に学んだ生徒や同好の士ではなく、クラスの生徒が全員で協力して一糸乱れぬダンスを高いレベルで披露できるということは、実は普通ではないのです。近隣に比較対象がないことで判り辛いですが、八雲から離れてみて初めて知ることとなりました。同窓会の皆様が八雲高校を大切に思ってくださるのも、卒業して改めて八雲高校の良さを知ることになったからかもしれませんね。

100周年直前に八雲高校を離れてしまい、色々と準備作業をお手伝いできなくなったことが心残りではありますが、記念式典をはじめ諸行事が万事順調であること、そして八雲高校の益々の発展を祈念しております。

八雲高校での九年間を振り返り

2013年4月～2022年3月
北海道南茅部高等学校
教諭　山﨑　直樹

八雲高校から南茅部高校へ異動し、あっという間に5ヶ月が経過しました。眺めの良い本校の校舎から噴火湾につながる太平洋を見渡し、八雲高校のことを思い出しています。

平成25年度に福島商業高校から異動し、令和三年度末までの九年間を八雲高校で勤務させていただきました。それまでに勤務したどの学校よりも全校生徒数が多く、教職員や生徒の名前と顔を一致させるのに苦労しました。出会う生徒達が、とても気持ちの良い挨拶をしてくれたことを思い出します。素直で純朴な生徒達と総合ビジネス科の授業を中心に関わり、販売実習や商品開発・課題研究といった授業や部活動指導において、地域の皆様には大変お世話になりました。また、在任中に2度のクラス担任を持つ機会をいただき、卒業生を2度送り出しました。一校で複数回卒業生を出したのは、八雲高校が初めての経験です。ただ、この3月の卒業式ではコロナの影響も有り、クラスの保護者の皆様に直接ご挨拶できないまま異動することになり残念に思っております。八雲町を離れはしましたが、卒業生それぞれが持てる力を存分に発揮し活躍されることを願っております。

八雲高校での9年間、経験豊かな同僚の先生方、理解ある保護者の皆様方、卒業後も八雲町内各所で活躍される同窓生の皆様方に、数多くのご指導ご助言をいただきましたことに深く感謝申し上げます。様々なことが大きく変化していく激動の時代の中、歴史と伝統ある八雲高校は、まもなく100周年を迎えます。また一歩、新しい歴史を刻み、渡島北部の中心校として益々発展されることを祈念いたします。

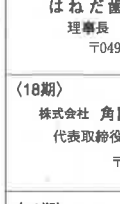
地域の力

2016年4月～2022年3月
市立函館高等学校
教諭　山﨑　祐介

平成28年度から令和3年度まで6年間、八雲高校に勤務させて頂きました。在職中は同窓会の皆様はじめ、生徒や保護者の皆様、教職員の皆様に大変お世話になりました。まもなく創立100周年を迎える、伝統ある八雲高校で勤務できたことは、私にとって非常に貴重な経験になりました。特に担任として卒業生を出せたこと、また、進路業務に携われたことは良い思い出になっております。

八雲町は非常に暮らしやすく、自然も豊かで、子育ての環境としても大変恵まれておりました。サケの遡上やオオワシを観察したり、プールやスキー場などの施設も沢山利用させて頂きました。息子が所属していた野球少年団の方々はじめ、地域の皆様に温かく接して頂き、八雲町は私たち家族にとって第二の故郷となりました。この場をお借りして感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

八雲高校もまた地域に根差し、地域に支えられた学校でした。特に6年間顧問をさせて頂いた野球部の活動でそれを強く感じることができました。遠征のバスを手配して頂いたり、グラウンドの環境整備に協力して頂いたり、山車行列に参加させて頂いたりと、物心共に地域の皆様に応援され、支えられた6年間でした。本当にありがとうございました。このような地域の方々の全面的なご支援・ご協力こそが八雲高校の特長であり、大きな財産なのだと確信しております。最後になりますが、この良き伝統が末永く続き、八雲高校がさらに発展されることを祈念し、お礼の言葉とさせて頂きます。



〈18期〉
医療法人社団 祐和会
はねだ歯科医院
理事長　羽田　弘和
〒049-3107 二海郡八雲町本町234番地
☎(0137)63-2418

〈16期〉
八雲高等学校同窓会函館支部「ユーラップ会」
幹事長　小林　俊弘
〒041-0832 函館市神山3-42-18
☎・FAX(0138)53-4100

〈13期〉
村山　幸子
〒049-3107 二海郡八雲町本町521
☎(0137)62-3740

〈11期〉
八雲高等学校同窓会関東支部
中村　信一
〒362-0015 上尾市緑丘5-23-6
☎(048)773-6489

〈18期〉
株式会社 角田配管工業所
代表取締役　角田　尚敏
〒049-3115 二海郡八雲町出雲町28
☎(0137)62-2578

〈17期〉
保護司、同窓会監事
佐藤　龍彦
〒049-3124 二海郡八雲町浜松191
☎(0137)64-3221

〈15期・元職員〉
寺田　武明
〒307-0008 茨城県結城市下り松4-11-8
☎(0296)32-6617

〈12期〉
セブンイレブン八雲落部店
岡嶋　敏夫
〒049-2562 二海郡八雲町落部545-2
☎(0137)67-2052

〈18期〉
小田桐　敏江
〒049-3112 八雲町末広町46

〈17期〉元八雲町消防団長　林　昌一
〈45期〉林農園代表　野菜ソムリエPro.
北海道指導農業士　林　昌之
〒049-2673 二海郡八雲町東野451☎(0137)66-2714
メール:masayasi@phoenix-c.or.jp

〈15期〉
八雲高校同窓会札幌支部
幹事長　結城　秀正
〒006-0811 札幌市手稲区前田1条8丁目2-5
TEL(011)683-1925

〈12期〉
森清掃株式会社
菱沼　幸子
〒049-2307 茅部郡森町字白川37
☎(01374)2-2653

〈19期〉
医療法人 知仁会 八木整形外科病院
理事長・院長　八木　知徳
〒063-0033 札幌市西区西野3条5丁目1-35
☎(011)663-3100

〈17期〉
同窓会長
小林　信雄
〒049-3123 二海郡八雲町立岩381-7
☎(0137)62-2438

〈15期〉
ほたるの里
水野　邦弘
〒049-3125 二海郡八雲町熱田113
☎(0137)63-3026

〈定時12期〉
金澤　誠治
〒049-3106 二海郡八雲町富士見町108
☎(0137)63-4045